

シリーズ健幸企業訪問No.1 FUTA・Q 二九精密機械工業(株)八木工場
 国道9号線やJR嵯峨野線から見えるボーダーに、FUTA・Qの文字の気になる建物。

訪ねてみた先は、

なんたん
 健康で幸せなまちづくりのために
健幸・ノート

働く人の笑顔がステキな従業員まると健幸企業でした



松浦恵さん(生産管理課) 小泉美保さん(総務課長) 長田俊輔さん(製造部長) 山添昌也さん(製造部)

「家庭が一番!、仕事はその次!」が経営のモットー

二九直昇社長が率いる二九精密機械工業(株)八木工場を訪問。同工場では、100年以上続くものづくり企業の智慧と技をいかした心臓などへの医療処置に使用される金属部品の超精密加工をされている。

今回、話を伺った総務課長の小泉美保さんは、健幸ポイントに加され、健幸アンバサダーでもあり、市の健幸まちづくりに深く関わっている方。そんな小泉さんも、かつては歩くことが困難なほど痛みを抱えていたそう。会社の理解があり、手術、リハビリを経て、歩

くってなんてステキ!という気づきのタイミングで健幸ポイントに



南丹市に魅力的なマルシエがほしい!

ただ歩くだけなのは苦手だけれど、

マルシエならいくらでも楽しんで歩けますから♪

参加、現在、健幸な気持ちで八木工場145人の健幸リーダーとして奔走されている。

元々、歩くことが好きだった生産管理課主任の松浦恵さんは、自宅から徒歩で通勤。仕事や生活の中で特別ながんばりをせず最大の4500ポイントを獲得され、健康で若々しさを保っておられる。

製造1課主任の山添昌也さんは、日々、顕微鏡で精密機器部品の検査をされており、こころと身体のケアとして筋トレをされている。ポイントの使い道は、美山ヘランチツーリングなど**南丹ならではの食と自然**を楽しみたいと職場内での会話も弾むそう。

製造部を取り仕切る製造部長の長田俊輔さんからは、家庭がうまくいくことで、従業員が「自分」を大切にできる環境が実現される。その結果、従業員それぞれの集中力や創造力が高まり、企業として生産性の向上、好調な業績につながっていると聞いた。独自の休暇制度、**健診・育休100%**など働きやすくなる職場づくりで健康経営優良法人ブライト500にも4年連続で認定されている。全方向での健幸づくりを礎に世界競争の厳しい市場を生き抜く京のものづくり企業の明るい未来を感じた。

なんたん 健幸ポイント

11月30日(土)まで追加募集中 (先着150名)



事業説明はコチラから

松浦さんは、運動、野菜、タンパク質、睡眠が健康と美の秘訣と！
月の平均1日歩数は、1万歩超え★



▲二九精密機械工業内でインタビューの様子



▲体組成計で計測中

毎月測定して、からだの見える化が楽しい！山添さんはこのひとときが職場で自分の健康と向き合う時間★

今、家庭や地域、職場で健幸の輪が広がっています



▲春のウォーキングイベント当選者のお二人
秋のウォーキングイベントもぜひ、お楽しみに！

浅田由加里さん(八木町日置)
「続けることで歩く速度も早くなり、外に出ることが楽しくなった！」と。家族と一緒に参加中。



▲日々の活動の交流も自然と笑顔に

斎藤智恵子さん(八木町刑部)
「歩数計があるから今日は何歩歩いたか楽しんでウォーキング。歩数も伸び、足のだるさも解消」

広報 南丹

こうほうなんたん

2024

9

Vol.129

NEW OPEN /



特集

新

登場！室内遊び場

HIYOSHI PLAY ARENA